



2009-2010年度 丸岡クラブテーマ



会長 下田重道 幹事 奥村雅徳

今週の例会 第1538回

平成21年9月16日(水) 移動例会 ハートピア春江にて 『福井人・開高健』 福井新聞社 常務 伊東博之様

次週の例会 第1539回

平成21年9月30日(水) クラブ協議会 ガバナー公式訪問に備えて 荒木一寿ガバナー補佐

http://www.maruoka-rotary.com 創立 昭和53年3月21日 承認 昭和53年4月6日



今日のロータリーソング 『奉仕の理想』



下田会長 挨拶

みなさまこんにちは。本日のお客様は、大野市歴史博物館館長の岩井孝樹様です。後ほど卓話よろしくお願ひします。8月初めに長畝公民館の講座で講演があり、やはり豊原寺に関するお話でした。その時の話は、九頭竜川という名前のもと崩れ川というのから来ているのではないかと、ということでした。

お盆の14日に吉崎御坊へお参りに行ったところ、例の肉付きの面の左の方にはかなり古そうな地図がありました。そこにははっきりと「崩れ川」とかいてあります。足羽川は北の庄川とあります。丸岡あたりは書いてありません。豊原寺と長崎を結ぶ道しか書いてありません。吉崎を中心にして右は敦賀まで、「つぬが」と書いてありますが、海の上から東の方を見た鳥瞰図です。是非一度皆様も見に行ってくださいと思います。今日も、丸岡のルーツ豊原寺の興味あるお話が聞けます。楽しみにしています。



奥村幹事 報告

※ 秋季ウィングカップソフトボール大会 10/12(月) 祭日 トリムパークかなづ ※9/25(金) 三国RC ビジター受付のみです。

10月 プログラム

3日(土)	IM参加	福井フェニックスにて
7日	富田ガバナー公式訪問	
11日(日)	丸岡古城祭りに参加	
14日	11日の振替にて休会	
21日	米山奨学生卓話	章政君
28日	卓話 世界社会奉仕委員会	平田好祐副委員長

※ 災害義援金 一人1件千円をお願いします。台湾台風災害義援金・兵庫県西・北部集中豪雨災害義援金への協力

第1537例会 委員会報告 (9月9日現在)

【出席委員会】

会員数	出席	欠席届有	欠席届無	マークアップ	出席率%
36	25	10		1	72.22

【マークアップ】 9/11 桑野会員、玉川会員(福井あじさいRC)

【ロータリー財団特別寄付】(入会順・敬称略)

釣部・前川・林田(数)・下田・中田・金・奥村・桑野・野尻・高山 (本日14,000円 本年度累計155,000円)

【米山記念奨学会】(入会順・敬称略)

釣部・前川・林田(数)・下田・中田・金・奥村・下村・桑野・高山 (本日15,000円 本年度累計186,000円)

【ニコニコ箱】

..(順不同・敬称略)

本日の合計	本日迄の累計	前年度実績
22,000円	413,400円	421,000円

- 下田...岩井孝樹様、卓話ありがとうございます。
- 奥村...岩井孝樹様、本日は卓話ご苦勞様です。
- 釣部...ちよつと嬉しい事があまして。
- 林田(数)...本日より代理です。いつもありがとうございます。
- 前川...岩井様、卓話ありがとうございます。今日の例会場を間違え、遅くなり、林田副委員長ありがとうございます。
- 藤本...結婚記念日を自祝。
- 金...以前より欲しかった物が、ようやく手に入りまして
- 高嶋...岩井館長、卓話ありがとうございます。
- 下村...いつも米山奨学会へご協力いただきありがとうございます。
- 高尾...岩井先生、卓話ありがとうございます。来週は移動例会です。
- 倉本...9/9は苦しいので、ニコニコ少ないです。ごめんなさい。
- 桑野...岩井様、本日は卓話ありがとうございます。
- 野尻...いつもロータリー財団にご協力いただきありがとうございます。
- 高山...岩井様、卓話ありがとうございます。

9/13(日) ボランティアセミナー (ハートピア春江) 全盲のソプラノ歌手澤田理絵さんの歌と講演



パネルを展示して、ロータリーの活動をPRしました。



県内クラブ 例会日

月曜日 福井東 福井厚生年金 敦賀西 サビ7敦賀 Pm7:00点鐘

火曜日 福井南 織協ビル8F 勝山 市民活動センター 武生 武生商工会館 若狭 小浜商工会議所 福井フェニックス Pm6:30点鐘

水曜日 福井北 ホテルフジタフイ 敦賀 北陸銀行敦賀支店 鯖江北 鯖江INPO会館 大野 大野商工会議所会館 丸岡 JA花咲ふくい

木曜日 福井 ユアーズホテル 武生府中 JA越前たけふ 福井水仙 神明神社 Pm6:30点鐘

金曜日 福井西 グラントリア 三国 三国観光ホテル 鯖江 鯖江商工会館 あじさい リバージュケボノ

卓話 『 泰澄大師と白山豊原寺 』

大野市博物館 館長 岩井孝樹様

通説というのは間違いが多いです。特に歴史は見ていた人が誰もいないのですから。そして地方の歴史はほとんど間違っていると言っても過言ではありません。今日話す泰澄大師さえ実在の人物ではないというのが圧倒的です。また「加賀の白山」と歌われ、白山は加賀のものだといわれています。しかし、白山の開闢伝承の泰澄和尚伝記(別紙資料)によれば泰澄大師が白山登頂し神様を祭ったと記されています。

古今類聚越前国誌には「山上三社の祭祀は今も平泉寺より主さるとなり」「加賀は旧越前の郡なり」と記されています。泰澄大師が白山を開かれしたのは717年ですが、当時加賀の国はありません。越前国の加賀郡でした。昔、加賀郡の人は貧しく生活が苦しく、豊かな越前の国へ逃げ込んだと古代史に書かれています。当時の越前は北陸道第一の最も富める国だったのです。現在は全く逆転していますがそれは江戸時代、前田家が加賀に赴任して一生懸命したことは、先進地の京都からいろんな産業文化を取り入れたことです。

豊原山は大宝2年(702年)始て基趾を開きと記されています。そして、白山禅定は伊弉諾贈冊の都城日本秋津嶋の根源、此秘窟豊葦原の中津国なり、仍て中間の一字を略して豊原と称す。(日本の国の丁度中間にある)泰澄は大宝2年(702年)に豊原を開き養老年(718年)に大野郡白山を開いたといわれています。

泰澄大師は越知山で修行して、神通力を得て白山開祖に向かわれた。越知山—大谷寺—称念寺—豊原寺—平泉寺—三の峰—別山—御前峰に向かった道筋が妥当なものと思います。しかし、話は全て平泉寺から始まっていて、豊原寺が出てこないのです。

いろいろな偉い学者の方が白山信仰について書かれています。一度も現地に行かないで論文を書いているのが現在の書物です。地方の歴史を中央の学者が考えて結論付けて教科書(通説)が出来ています。地方の方々は中央の学者が作ったことに反対はできなかった。平泉寺の六千坊や豊原寺に三千坊があったことが不思議がられていますが、現在は遺跡が発掘され、平泉寺は間口三十三間、の大拝殿の礎石が残っています。これは日本一の大拝殿です。礎石から推測すると間口四十五間あります。六千坊も日本一の大きさです。三千坊にしても巨大な坊社の数です。源平の戦いにも平泉寺も豊原寺も参加をしています。源頼朝、平清盛、木曾義仲、一向宗ともここを狙い占拠をした。織田信長も豊原寺を焼き払い本拠地にした。ここに巨大な勢力があったからです。

平成元年から勝山市が発掘調査を始めたところ、六千坊にたがわぬ石畳の整然とした町並みが出現し、我が国中世、最大の宗教都市であると、国の史跡として指定されています。



豊原寺図、白山豊原寺縁起は豊原春雄氏所蔵の物が丸岡歴史民俗資料館に保管されています。その中に平泉寺は最初神社はありましたが、お坊さんもなく、白山の三社の神様が祀られているだけでした。それを豊原寺のお坊さんが見て、平泉寺を再興して、今の平泉寺の基が出来たそうです。現在の豊原寺を訪ねてみると、入口の石燈籠に「薬師如来宝前」とあり薬師如来が祀られていたということです。

古代の滅罪による治病延命の現生利益は山林における読経、礼拝、滝行などを含む禅定行を修する「悔過(けいご)に求められたが、その最も盛行したものが「薬師悔過」であった。薬師如来を豊原寺がお祀りしているのは、奈良時代以前にさかのぼる信仰があったということです。

白山信仰については、まだまだ解らないことばかりです。以前に称念さんで話をする機会があり、その後豊原寺に興味を持ち、調べたこととお話しさせていただきました。



「ロータリーの友」ポイント紹介

金 雑誌・資料・IT 委員長



P1. R I 会長メッセージ

R I 会長は非常に説得力のある、明快な論旨で話をされる方です

【青春時代の経験】若い時に受けた印象は強く、そしていつまでも残ります。

P14. 貧困が戦争の原因というのは誤りで、大戦争は開発が進んだ豊かな国同士で起こる。

反乱、テロ活動は政治的不満から発生

P26. 米山記念奨学事業の基礎知識

P②戦後文明の中で何を失ったか
横井庄一さんの生きざまを見て考えさせられた。軍用道路から4kmしか離れていないところ0.5×3mの洞穴で生活をしていた。

P. ⑥ 「子供を不幸にする一番確実な方法は、いつでも何でも手に入れられるようにしてやることだ」

P. ⑬ 出席者に配慮し、さらに会議の短縮を

P. ⑳ 現代若者の「非婚化現象」

P. ㉑ ラオスに「家畜銀行」を設立 岡山 RC

カム族の4つの村に豚を貸し出して繁殖させ、現金収入を得られるよう支援する。雌豚を1頭ずつ半年ほど育て、一度に約10頭出産する豚から2頭を、元金と利息として家畜銀行に返済。残りは財産として所有し、販売や食料など自由に活用します。



歴史探訪

振袖地蔵

坂井町上関

区の古老による語り伝えによれば、天保7年(1836年)天保の大飢饉の飢餓は百年に一回という稀に見る異常なもので、春先から低温と多雨に見舞われ旧暦4月7日(5月21日)雹が降るようなことで、梅も桜も咲かず、秋になっても稲穂が半分しか出ないという大凶作となった。そのため、餓死するものは、福井藩で六万人にも達する悲惨なものであった。

食べ物を求めて、この地に來たる者の姿は、まるで幽鬼の如く、ひどいもので野たれ死にする者数多くあり、特に哀れを誘ったのは娘たちが振袖を着たり、また、振袖を抱えての飢餓者であった。そこでこれを哀れみ地蔵を祀り、そこに振袖を刻み、また、振袖を着せて供養したことが今に伝えられている。当地域にある大関音頭に

『関の地蔵さん振袖姿 かたい心がしおらしゃ』と歌われている。



(事務局) 〒910-0254

Tel (0776) 67-0410 / Fax (0776) 67-4811

福井県坂井市丸岡町一本田34-7 JA花咲ふくい丸岡支店2F

(例会場) JA花咲ふくい丸岡支店 3F (例会日) 毎週水曜日 12時30分(会員数) 36名

クラブ広報委員長 林田敦一

会報委員長—玉川佳一 副委員長—桑野賢吾

委員—東角操・大久保政幸・西川政義